

# 事業所における自己評価表

公表 平成30年3月31日

<p>・保護者等から事業所評価、職員からの事業所評価を集計し作成いたしました。</p> <p>・明るい未来を見据えて、今後も更なる個性に応じたより良い支援・指導をし、お子さまの変容に繋げていきたいと存じます。今後も学校、ご家庭、学園三者総体となり努めていく覚悟でございます。温かいご協力・深いご理解の程、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p><b>LLCくき学園</b></p> <p>本校・栗原校・青葉中央校 (代表)</p> <p>埼玉県久喜市青葉1-1-4-110 0480-31-8120</p>
--	--

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・児童生徒のに合わせた学習体系に応じて、教室をパーティションなどで分けたり、グループ方式・授業形式・個別などに対応しております。	
	②職員の配置数は適切であるか	・児童生徒の能力個性に合わせて対応できる配置数です。	
	③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	・施設面だけの対応だけではなく、介護福祉士、元特別支援教諭などの意見や助言を十二分に生かしております。	
	④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている	・職員による毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境を整えています。また、掲示物や学習に集中できる環境を整えて、明るく楽しい雰囲気にも気を配っています。	
業	⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	・児童生徒が学校下校前の時間帯にて当日指導にあたる全職員にて毎日打合せをしております。 ・定期的に職員会議も開いております。	
	⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	・保護者向けアンケートを実施し、アンケート結果をもとに職員会議にて話し合っています。また、保護者からの意見をもとにニーズに合った支援を行って参りました。	

務 改 善	⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	・保護者の評価・職員による自己評価を行っており、職員会議にて内容を踏まえて話し合っている。 ・評価内容を職員同士で共有し、保護者へもこの内容を公開している。	・評価及び改善点は、当学園のホームページにて公表して参ります。
	⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	・医療の専門家、司法の専門家により、外部評価を受けている。 ・この評価や助言をもとに、業務改善を行っています。	・今後は、更に研究機関などとも提携していく予定である、そして、幅広い評価を得たうえで業務改善へと繋げていきたい。
	⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	・虐待研修・指導研修・教科研修と指導・支援の研修を月に一回のペースで行っている。 ・職員の意識の高揚を、研修等で図っている。	・運動療育委員会・キャリア教育委員会・英語国語科委員会など、専門委員会の活動を予定している。
適 切 な 支 援	⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	・保護者との面談・ヒアリングを行い、要望の把握をしたうえで、親身になったアセスメントを行っている。そして、その結果から、支援計画を作成し、要望に沿った支援を行っております。	
	⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	・要望等をまとめたうえで、支援計画を作成している。	・今後、更にツールを増やしていきたいと考えている。
	⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・保護者・児童生徒の必要な支援をまとめて、現在の学習能力などを把握したうえで、将来の進路の幅を広げる支援をRV-PDCAに沿って短期・中期・長期と考えながら支援計画を作成している。	
	⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている	・毎日の職員打合せや、職員会議、教室ごとの打ち合わせなどで共有を図っている。 ・児童生徒の成長の具合も把握し、支援計画の確認を行っている。	
	⑭活動プログラムの立案をチームで行っている	・自然学習・宿泊学習などではチームを編成し、他の職員とも情報を共有しながら立案・設定・実行している。 ・土日祝日の活動においても、有意義な学習になるようチームを編成しています。	・学園の特色となるよう各専門委員会を利用しながら、よりよい支援に繋がるようチームを編成していきたい。

支援の提供

<p>⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫している</p>	<p>・児童生徒の段階や特性・能力に合わせ、活動や学習方法なども日々の打ち合わせなどで話し合っています。</p>	
<p>⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している</p>	<p>・子どもの状況・成長の段階などに合わせた、支援を適宜行っており、指導計画を作成し、実行している。</p>	
<p>⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している</p>	<p>・毎日、支援開始前に打合せをし、役割分担や、支援方法などを話し合っています。 ・日々の打合せを受けて、定期的に職員会議でも議題にしております。</p>	
<p>⑱支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している</p>	<p>・支援終了後では、職員の時間が合わないため、支援内容を記録として残し、それを元に翌日の日々の打ち合わせにて引き継いでおります。</p>	<p>・更に、ツールなどを用いて、より共有していきたい。</p>
<p>⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている</p>	<p>・日誌や生活の記録、教室ごとの共有ノートにて情報を共有・記録し支援方法の検討や改善につなげております。</p>	<p>・より良いツールを考えていきたい。</p>
<p>⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している</p>	<p>・保護者との面談を定期的に行い、現況の報告や進路を見据えた支援方法などについて話し合っています。</p>	
<p>㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している</p>	<p>・児童生徒に関わっている職員からの情報を担当者がまとめ、よりモニタリングに生かせるようにしております。</p>	
<p>㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている</p>	<p>・幼稚園・保育所・小中学校へ定期的に訪問しています。 ・定期的に訪問した際の情報を職員にて共有を図っています。</p>	
<p>㉓(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている</p>	<p>・現在は対象者がいません。 ・医療専門家から助言をいただ</p>	

関係

係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

<p>②④(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている</p>	<p>けるよう、協力関係を図っています。</p>	
<p>②⑤移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている</p>	<p>・送迎時に担任の先生との情報共有を行っています。 ・定期的に学校等へ訪問しております。</p>	
<p>②⑥移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている</p>		
<p>②⑦他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている</p>	<p>・スキルアップ研修を受講し、意識の高揚、支援の質の向上を図っております。</p>	
<p>②⑧保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある</p>	<p>・地域を巻き込んだ活動をしており、地域の中の交流を活発に行っています。</p>	
<p>②⑨(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している</p>	<p>・水島輝彦先生からの助言をいただきながら、積極的に参加させていただいております。</p>	<p>・支援相談員事務所開設になるため、より密接にかかわっていきたいと考えています。</p>
<p>③⑩日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている</p>	<p>・「生活の記録」での保護者とのやりとりや、送迎時に情報を交換しています。 ・定期的にヒアリングを行っております。</p>	
<p>③⑪保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている</p>	<p>・定期的にペアレントトレーニングを臨床心理士のもとで実施しております。 ・「くき学園だより」などの配布物で情報を提供しています。</p>	
<p>③⑫運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている</p>	<p>・利用者負担・運営規定については、契約時に説明を行ったうえで契約書を作成しております。</p>	

保護者への説明責任等

<p>③児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている</p>	<p>・支援に関係している職員から状況をまとめたうえで、支援計画を作成し、保護者へ提示しています。 ・提示した支援計画に同意をいただいたうえで、捺印を押印し、控えを保護者へお渡ししております。</p>	
<p>④定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている</p>	<p>・随時、電話や面談にて相談に応じております。 ・支援について綿密に「生活の記録」や送迎時の話し合いの状況に応じて、悩み事を軽減するための助言も行っています。</p>	
<p>⑤父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p>	<p>・くき学園親の会「夢・実現の会」にて水島輝彦先生の新春講演会など活動を行っております。 ・保護者会も定期的に行っております。</p>	
<p>⑥子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している</p>	<p>・随時、適宜に相談に応じております。 ・必要に応じて、臨床心理士などの専門家による相談にも応じております。</p>	
<p>⑦定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している</p>	<p>・ホームページに保護者用ページ(外部閲覧不可)や、「くき学園だより」にて情報の発信をしています。</p>	
<p>⑧個人情報の取扱いに十分注意している</p>	<p>・職員に情報の取り扱いに十分に注意するよう周知徹底をさせております。</p>	
<p>⑨障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている</p>	<p>・保護者用ページを利用したり、電話や「生活の記録」などで情報提供をしております。</p>	
<p>⑩事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている</p>	<p>・自治会や自治体と協力し、敬老会への参加や、夏祭りでの出展、いもほりなどへ積極的に参加しています。</p>	
<p>⑪緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している</p>	<p>・定期的に埼玉東部消防組合の協力の下で防災訓練の実施をしています。</p>	

非常

常時等の対応

④②非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている

・職員や保護者へも「くき学園だより」などで周知しております。

④③事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している

・契約時に「支援ファイル」を作成して確認・対応している。